

第3回 幼稚園再編に係る地域協議会(なばた幼稚園)

日 時： 令和3年5月17日(月)

午後3時から

場 所： なばた幼稚園リズム室

次 第

- 1 こども園(南こども園)について
- 2 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案(以下「原案」という。)に対する追加意見の共有について
- 3 原案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応について

配布資料

【資料1】 こども園について

【資料2】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して
提出された追加意見

【資料3】 「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する
意見を踏まえた課題と考えられる対応



こども園の1日

資料1



【3歳未満児クラス】 (3号認定児)

【3歳以上児クラス】

時間	月～金曜日	時間	土曜日
7:00	随時登園		随時登園
		7:30	
8:30	年齢別保育	8:30	3歳未満児クラス 合同保育
9:30	おやつ 遊び	9:30	おやつ 遊び
11:30	食事 昼寝	11:30	食事 昼寝
15:00	おやつ 随時降園	15:00	おやつ 随時降園
		18:00	保育終了
19:30	保育終了		

時間	1号認定児		2号認定児	
	月～金曜日	月～金曜日	月～金曜日	土曜日
7:00	随時登園 合同保育		随時登園	
7:30		預かり保育		
8:45	登園	学年別保育	3歳以上児クラス 合同保育	
9:00			遊び	
12:00	食事		食事	
13:00	遊び		昼寝	昼寝
14:00	降園	預かり保育		
14:30	(昼寝)		おやつ	おやつ
15:00	おやつ			
17:00	遊び 随時降園		遊び 随時降園	
18:00	保育終了		保育終了	
18:30	保育終了		保育終了	
19:30	保育終了		保育終了	

1号認定児は、水曜日は半日保育(11:30まで)になります。
11:30以降、預かり保育が実施されます。

※1号認定児…満3歳以上の未就学児(2号認定除く)

※2号認定児…満3歳以上で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども

※3号認定児…満3歳未満で保護者が保育を必要とする事由に該当し、保育を必要とする子ども



「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対して提出された追加意見**①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること**

通園が遠くなるので、大きな災害時にすぐに行けないのは不安。

2歳差できょうだいがいるので、統合により送迎がバラバラになると本当に大変だと思う。

通園というが、毎日の通園以外に行事や参観、役員などで親が園に行くことは多い。車がない、統合される側の保護者の負担はどう考えるのか。

子どもの通園時間が長くなるのは子どもの時間をもったいない。それを考えて近くの市立幼稚園を選んだ保護者もいるはず。

統合の範囲が広すぎて、実際通わす事を考えると不安でしかない。子どもは順応するかもしれないけど、わざわざ遠い所へは連れて行かない。統合しても壱分幼稚園に子どもが増えるのか？

なばた幼稚園の子ども達のほとんどは統廃合により、東小学校へ通う小学生よりも遠い距離を通園しないといけなくなる。幼稚園児には負担が大きすぎるがどうするのか。なばた幼稚園に通うときに必要なバス通園費は市が負担するのか？

通園バスの運行拡大はできるだろうけど、駐車スペースの確保など現実的にできると思わない。狭い道路で乗り降りや、そこから幼稚園に歩くにしても、事故が起きる確率が増えるのはやめてほしい。

②再編の環境変化に伴う園児及び保護者への対応に関すること

在籍園児はそこで卒園となると、下に誰も入園してこない年長だけの幼稚園になる期間があるということか。途中統合を了承して入園する学年になるということなのか。判断ができない。

親の丁寧な対応をしている時間があるのなら、子どものより良い学びが得られる時間を考えてほしい。そもそも親が不安になるような事は子どもにも伝わるのでやめてほしい。

下の学年が入ってこない年代のなばた幼稚園児は、少人数のクラスで多学年との交流を持つことができず、人間関係が希薄な幼稚園生活を送ることになってしまう。なばた幼稚園に在園していて突然壱分幼稚園に転園となる場合は、環境や友達、先生が全て変わってしまって、登園を嫌がる子ども多数出るのではないかと。どちらにせよ子どもの育つ環境としてふさわしくないが、どうするのか。

③幼稚園と地域との関係に関すること

地域との連携を考えるなら統合はありえない。教育委員会のいう配慮、努めるの具体例をあげるべき。上辺の言葉にしか見えない。小学校との連携もなばた園区の人が壱分小学校と連携しても意味はない。それなら、ない方がよい。

統合の範囲が広すぎて想像を超えている。小学校くらいならいずれ通う所だし良いと思う。

統合された壱分幼稚園に壱分小学校と東小学校に行く子どもが存在することになるが、小学校にあがるのに必要な交流を二校とも同じように行うことができるのか。なばた幼稚園では地域の方が熱心に行事に関わってくれていたが、壱分幼稚園に統合されると遠くなるので、なばた幼稚園区の地域の方に関わってもらうことができなくなるのではないかと。

なばた幼稚園にはさつまいも畑を提供してくださる方が園の近くにおられますが、壱分幼稚園になるとその方との縁が断たれてしまいますよね？

④跡地の利活用に関すること

老朽化も統合の理由なら、更地にして使うのが前提と考えていいのか。施設として使うなら幼稚園を残して、空き教室や空き時間で地域の人も使える。収益もあげていくこともできるのでは。

跡地の利用で悩むなら、統合は反対。

⑤特別な配慮を要する園児への対応に関すること

特別な配慮を要する子は本当に朝も大変なのをわかってほしい。周りにも言えず、グレーで診断をつけずにいるお子様もたくさんいる。それでなくてもどんな子でも子育ては大変です。

ただでさえ、統廃合によりなばた幼稚園児には心理的負担が大きいのに、特別な配慮を要する子には負担が大きすぎるのではないかと。他の子たちもそうだが、統廃合により登園を嫌がる子たちには具体的にどのように対応していくのか。結局親が対応していくことになるのではないかと。心理的な面に市が責任を取ることはできないのではないかと。

その他意見

現在小学生になる姉はこども園に通っていた。1クラスの人数はとて多く、集団生活を経験するという面ではよかったかもしれないが、人数が多いため、話したことがないお友達(保護者)もたくさんいました。保護者の中でもグループができるので結局子どもが遊ぶのは決まったお友達という感じでした。次女の入園で少人数は初めての経験ですが、男女共に「クラス皆がお友達」になれると周囲から聞いて、少人数ならではの良さもあるのかなと思います。

なばた幼稚園をなくすのではなく、こども園にしてほしい。まわりの保育園に落ちたお母様方も同じように言っています。駐車場は整備すれば解決する問題だと思う。

子育てをメインで考えるなら、同じ小学校区の友達と通える場であってほしい。全てをこども園化するのには予算で無理なのか。そこまでの子どもがいらないのか。市の今後を考えればこれからも他県から若い人に転入してもらえよう、環境を整えていくべきではないか。区内に必ずこども園があって、希望すれば入れるというのは相当魅力的ではないかと思う。予算を考えて存続が無理なら、そう言うべき。ごまかして、どうするのが決まらないままでは入園希望も減るだけで、誰にも何のメリットもないと思います。

せつかく入園し、これから下の学年が入ってこなくなると寂しいです。コロナもあって、少人数がいいなと思い入園しました。今統合を考えるのは市に不信感しか残りません。なぜ今？少人数学級は自分の意見を大勢の前で言えない子にも発言しやすくなると思うし、自分を大切にしてくれる子が育つと思います。

生駒市は公立こども園が少なすぎるので、こども園を選ぶ時に選択肢がありません。なばた幼稚園の場所のまま公立こども園化も検討してください。統廃合は壱分幼稚園側にメリットはあっても、なばた幼稚園側にメリットはありません。壱分幼稚園のような狭い敷地で統廃合してこども園化しても、さほど待機児童の解消にならないのでは。子ども達が育っていく環境として一番良い方法を考えてください。

一番は子どものことを考えてほしいです。地域にどれほど未就園児がいるか、待機児童がいるか、その待機児童のところに幼稚園にも預かり保育があることをご案内できているかなど募集に力を入れるべきで、幼稚園を統合するなどしたら、もっと待機児童が増えると思います。統合してこども園化ではなく、両方こども園にするなどして、子どもの未来の幅を拡げて欲しいです。跡地の利用にお金をかけられるなら、幼稚園にもお金をかけられると思います。

「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」で示された再編案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応

①園児の通園の負担及び通園時の安全に関すること		
具体的な課題		考えられる対応
(1)通園バスの利用料について	バス利用料の負担はどうなるのか。	
(2)通園バスの運行について	どのようなバスルート・バス停の場所になるのか。	両園区をカバーするような広範囲のバス運用。安全の確保ができる場所へのバス停の設置。
	雨の日だけ通園バスに乗れる制度をつくってほしい。	
(3)園と家が遠くなることについて	緊急・悪天候時に負担が生じる。	
	自家用車の使用許可について。	
(4)園区について	他の幼稚園のほうが近くなる。	現時点で園区制度がないことから、周知。相談を丁寧に行う。
	保育ニーズはある。定員は大丈夫か。	すぐに統合ではなく、状況を把握しながら進める。
(5)徒歩通園について	健康維持と体力の向上ができていた。	園での教育を通して、適切な運動ができるように努める。
	送迎時の先生との交流の機会だった。	保護者との連携を積極的に行うように努める。
	送迎時の子どもとの時間が学びであり、会話を楽しめる時間でもあったが、その時間が無くなる。	

1. 小学校区に幼稚園がなくなることについて

教育委員会の案では生駒東小学校区にある公立なばた幼稚園がなくなり、生駒東小学校区の児童は隣の小学校区にある幼稚園に通わなければならなくなります。これは「園が地域とともに子育てをすることに配慮」したものではなく、非常に不合理です。このようなことにならないようにするにはどうすればよいかを先ず考えなければなりません。

2. 幼稚園の統廃合問題への解答=生駒モデルの提案

少子化による園児の減少から今後を切り拓く根本的な解決策を提示したいと思います。

A.教育委員会の見解(主な点)は次の通りです。

- (1)望ましい規模・・・①1学級当り 20～30人 ②1学年 2クラス以上、1園 6クラス以上
- (2)望ましい規模ではない幼稚園の対策・・・①統廃合 ②こども園化
- (3)対策を講じる幼稚園・・・なばた幼稚園の廃園と壱分幼稚園への統合及びこども園化。俵口幼稚園の廃園と生駒台幼稚園への統合及びこども園化。

B.これに対して私達は次の様に考えます。

(1)教育委員会の考えの問題は次の点です。

- ①廃園の問題点・・・同じ小学校区内に通えず、他の小学校区へ通うことの不具合。
- ②統合の問題点・・・1園の人数が多くなりすぎる。(令和6年度予測 なばた幼 52+壱分幼 71=123、こども園にすると保育園児が加わり大幅に人数が増える。)
- ③こども園化の問題点・・・幼保による在園時間の違いから起こる不具合。

(2)「望ましい形」について私達はこう考えます。

- ①望ましい規模・・・幼稚園での①少人数学級の実現 ②1園理想 100人以下、適正規模 150人以下。
- ②望ましい立地・・・小学校区の中に就学前教育保育施設があること。
- ③待機児童の解消・・・この地域での保育所待機児童を解消できること。

(3)そこで「望ましい形」にするための方策を提案します。

- ①なばた幼稚園を現在の場所で認定こども園にする。
- ②こども園は幼保連携型とし、幼保ともに午後4時まで就園時間とする。保育児についてはそれ以上の時間帯の保育も可能とする。

(4)「生駒モデル」の採用

これまでの枠にとらわれず、統廃合やこども園の問題点を解決し、新しい方式を取り入れる。

C.検討課題

教育委員会では幼稚園の統廃合によって市の財政削減を予定していることに鑑み、今回の「生駒モデル」を採用することによる財政支出への検討が必要になります。

- ①教育委員会案(廃園と統合)による財政負担額と当会案(認定こども園化)による財政負担額の検討。
- ②認定こども園を午後4時まで就園時間とすることによる利用者負担の増加の検討と市からの補助の検討。